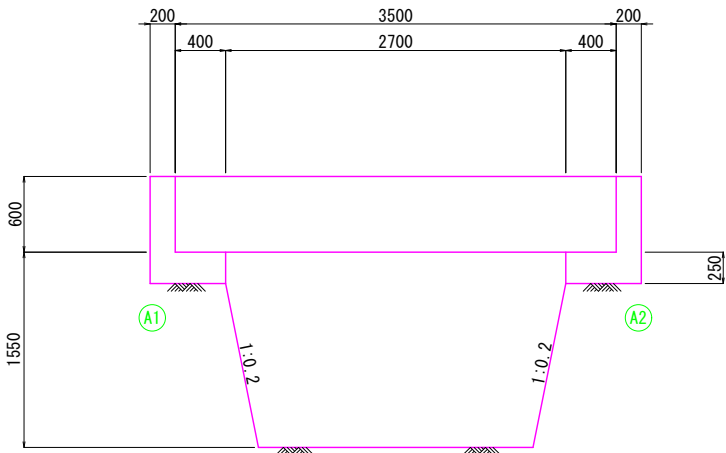
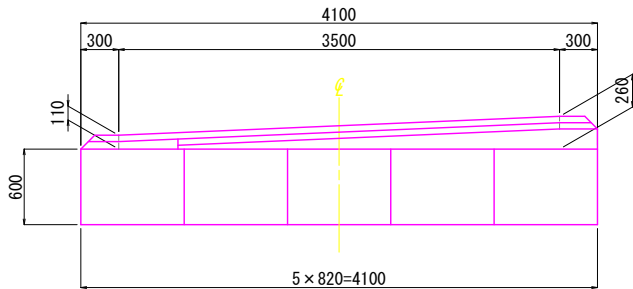


曲淵1号橋 一般図 S=1:30

側面図

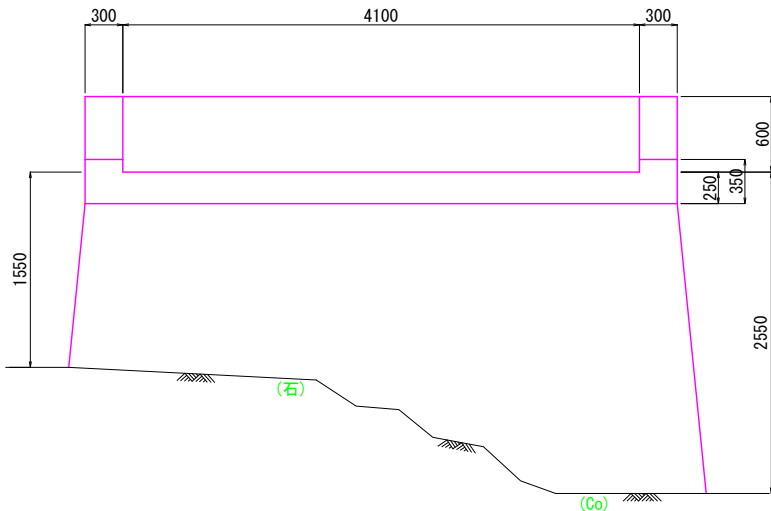


上部工断面図

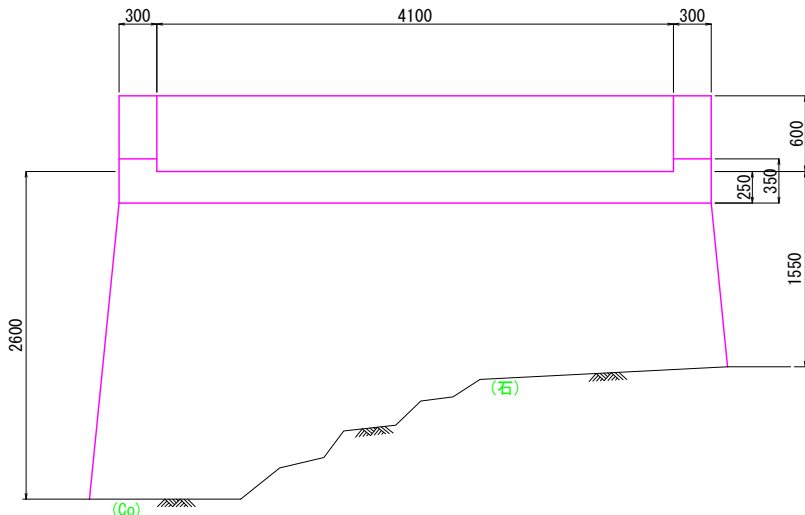


下部工断面図

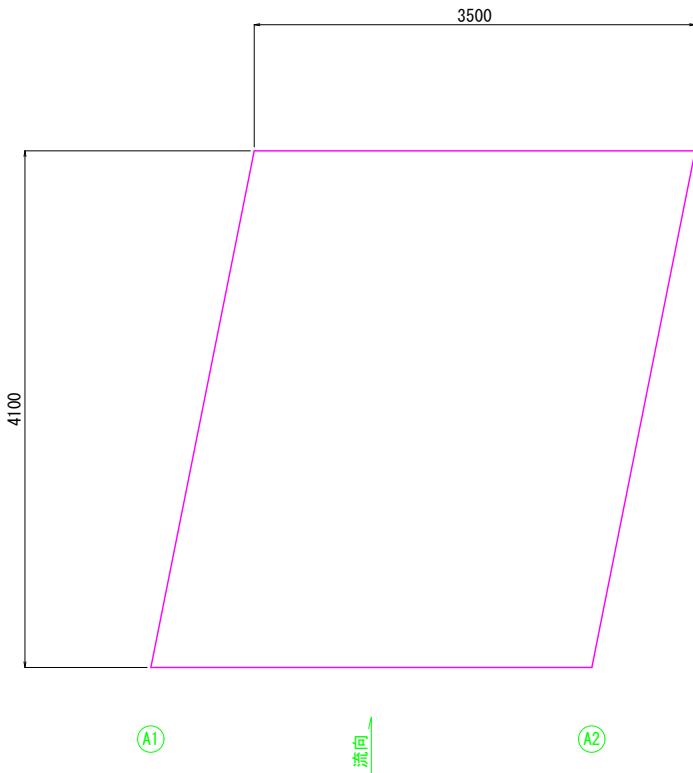
A1橋台



A2橋台



平面図



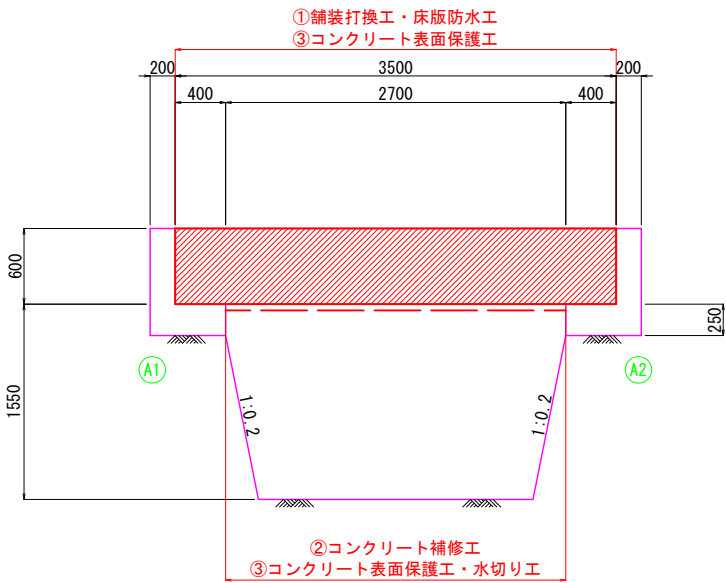
- 注記
1. 施工にあたっては現地測量を行い、既設構造物の寸法や斜角を再確認すること。
 2. 補修部材は、実測確認後に製作すること。
 3. その他、現場条件により不具合がある場合は、協議の上、変更を行うこと。
 4. 施工にあたっては再度現地調査を行い、損傷箇所を確認の上実施すること。
 5. 再調査の結果、新たな損傷箇所が確認された場合は協議の上、対策を行うこと。

【曲淵1号橋】

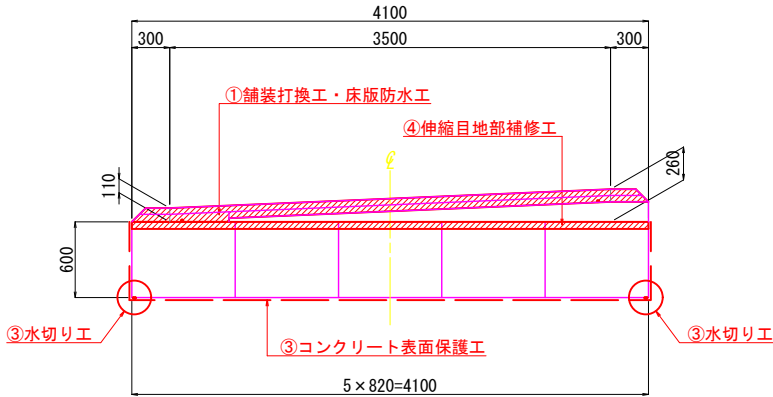
工事名	令和6年度橋梁補修設計業務		
図面名	曲淵1号橋 一般図		
作成年月日	令和6年12月		
縮尺	S=1:30	図面番号	000 / 000
会社名	株式会社 パスコ		
事業者名	神石高原町 建設課		

曲淵1号橋 補修工一般図 S=1:30

側面図

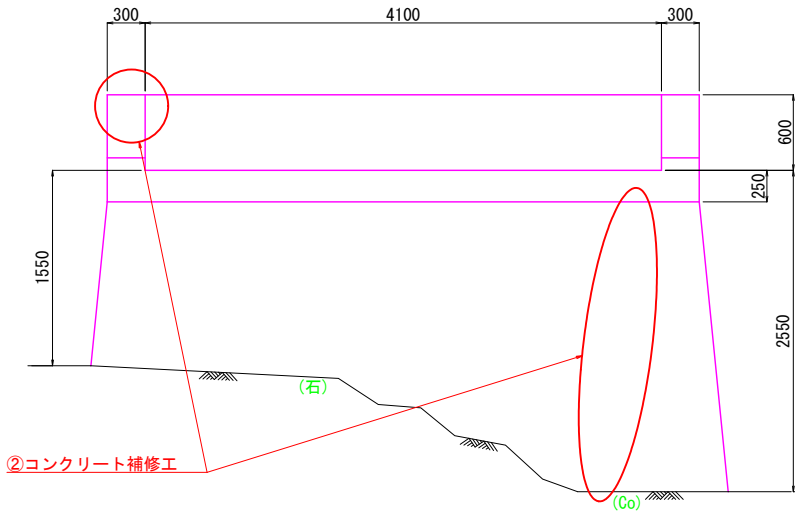


上部工断面図

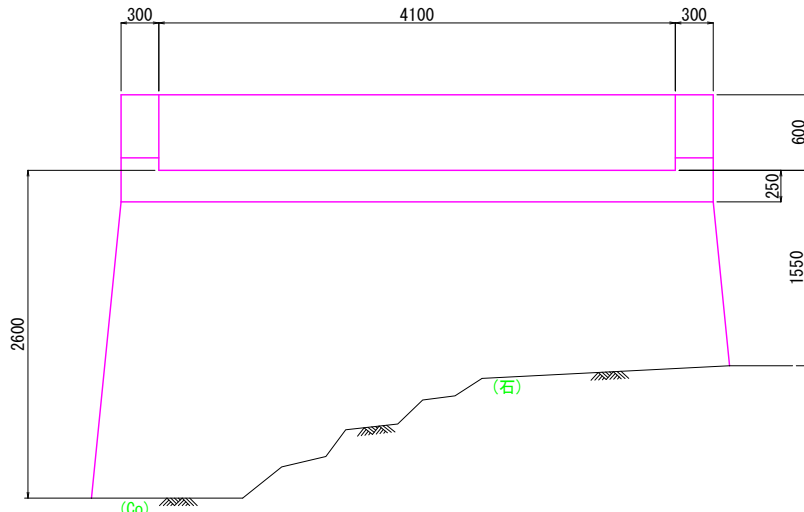


下部工断面図

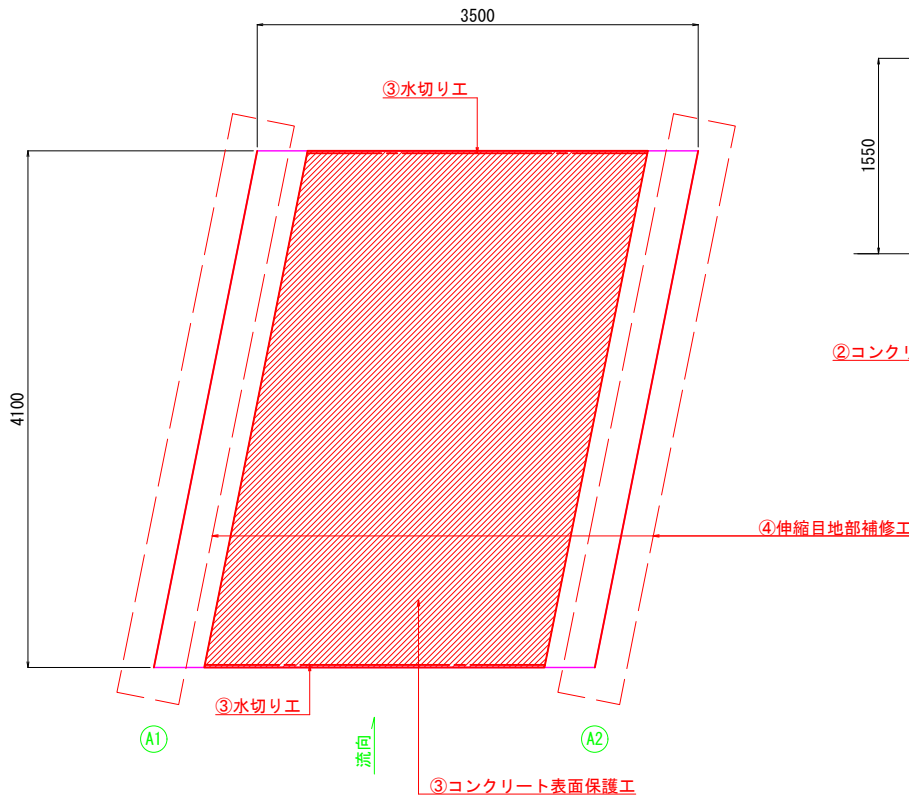
A1橋台



A2橋台



平面図



対策工一覧【曲淵1号橋】

- ①舗装打換工・床版防水工
・床版下面に遊離石灰が見られるため、長寿命化対策として床版防水工+As舗装打換工
・床版下面に縦目地からの漏水が見られるため、長寿命化対策として縦目地部にシール工
- ②コンクリート補修工
・0.2mm以上のひびわれに対しひびわれ補修工、剥離・鉄筋露出、欠損部に対し断面復工(上部工、下部工)
- ③コンクリート表面保護工・水切り工
・主桁下面及び側面に対し、Co中性化進行抑制、鉄筋の腐食進行抑制対策として、表面含浸工(鉄筋腐食抑制型)
・地覆からの伝い水遮断対策として、水切り工
- ④伸縮目地部補修工
・全支点において桁下への漏水が見られるため、伸縮目地部への止水材設置工

橋梁諸元

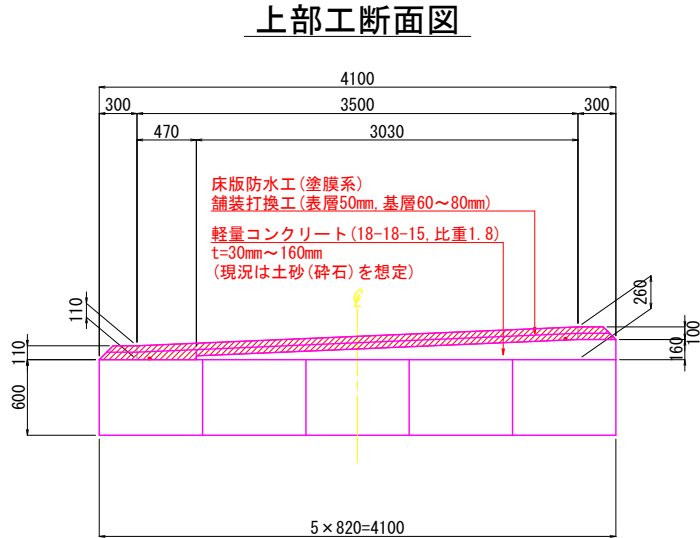
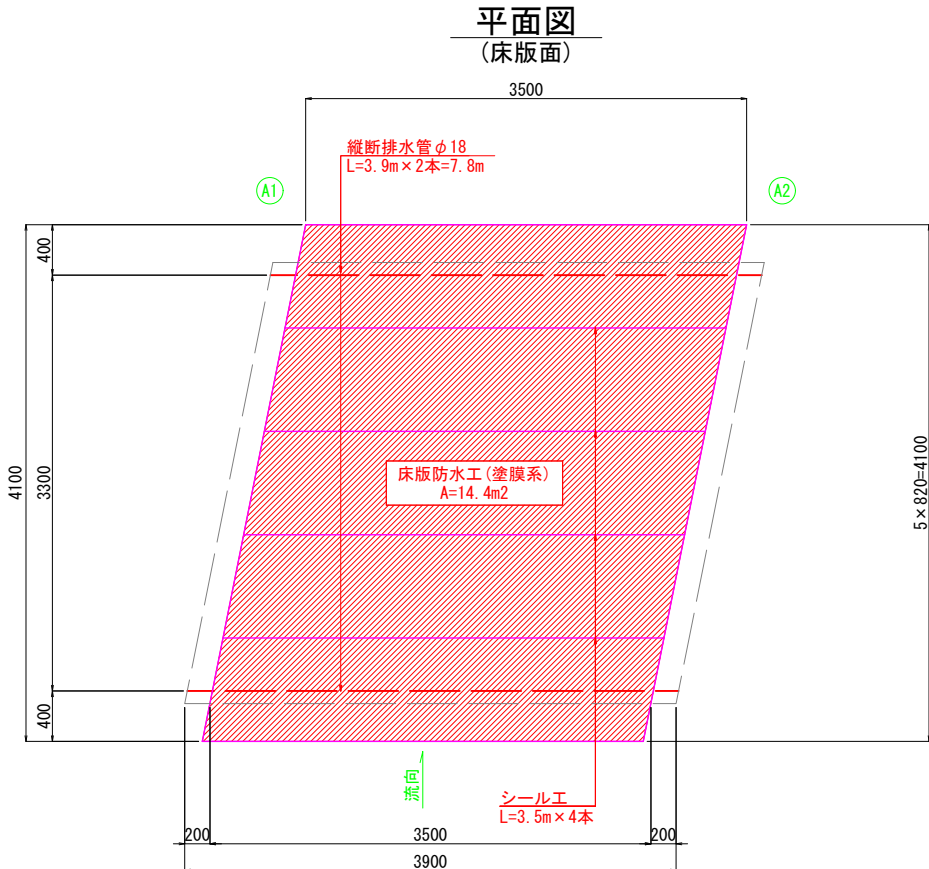
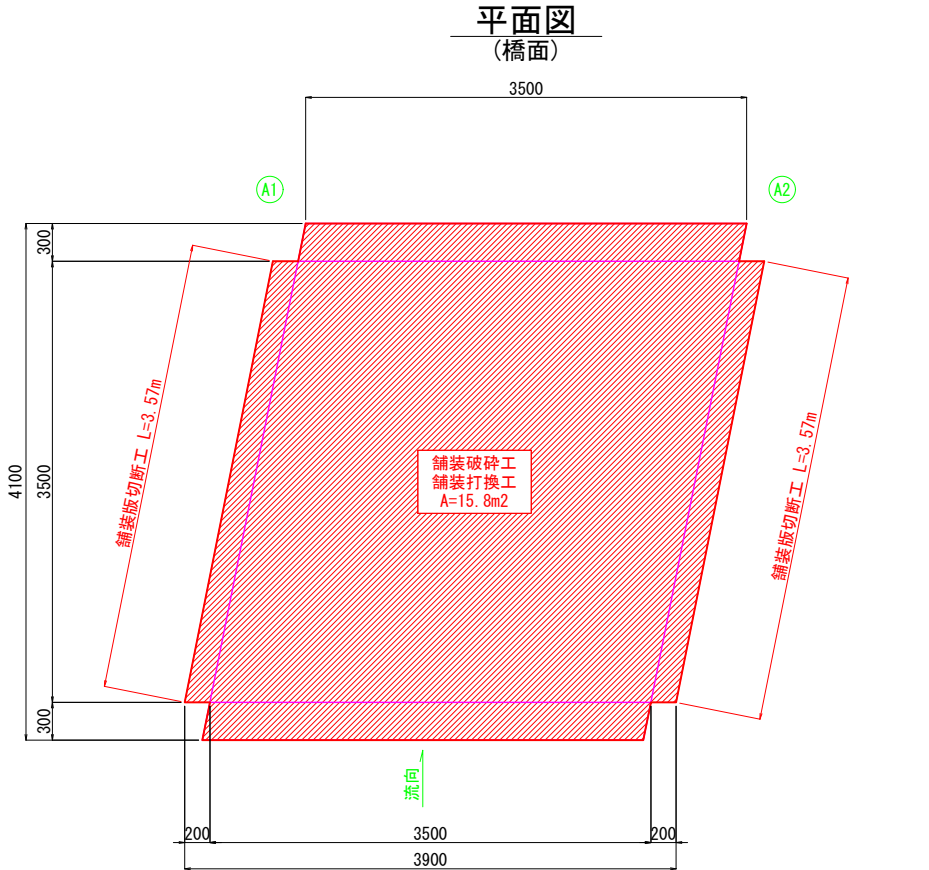
項目	内容
橋梁名	曲淵1号橋
路線名	町道 平井田川瀬線
橋種	単純RC床版橋
活荷重	不明
竣工年	昭和58年(1983年)
交差物件	沢(管理者: 神石高原町)

- 注記
- 施工にあたっては現地測量を行い、既設構造物の寸法や斜角を再確認すること。
 - 補修部材は、実測確認後に製作すること。
 - その他、現場条件により不具合がある場合は、協議の上、変更を行うこと。
 - 施工にあたっては再度現地調査を行い、損傷箇所を確認の上実施すること。
 - 再調査の結果、新たな損傷箇所が確認された場合は協議の上、対策を行うこと。

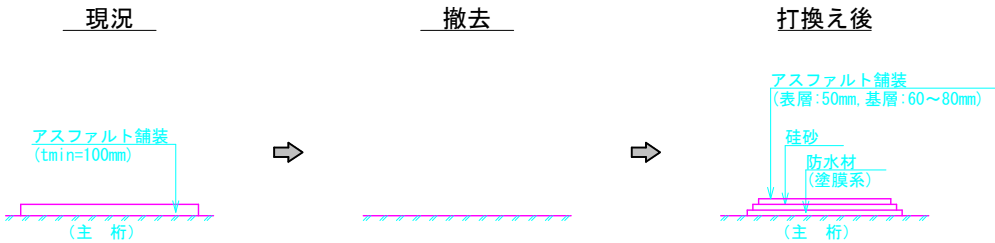
【曲淵1号橋】

工事名	令和6年度橋梁補修設計業務		
図面名	曲淵1号橋 補修工一般図		
作成年月日	令和6年12月		
縮尺	S=1:30	図面番号	2 / 7
会社名	株式会社 パスコ		
事業者名	神石高原町 建設課		

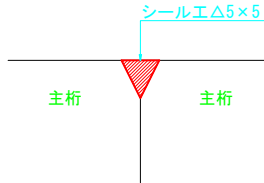
舗装打換工・床版防水工図 S=1:30



舗装打換え要領



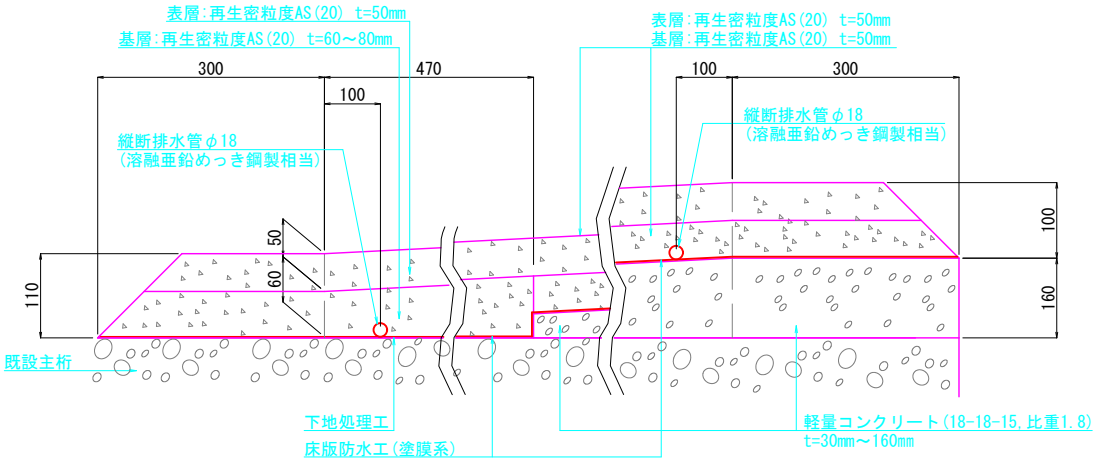
シール工断面図



＜舗装打換え手順＞

1. 桁上面に橋面防水層設置後、アスファルト舗装で復旧を行う。(表層:50mm, 基層:60~80mm)
2. アスファルトの仕様は、表層・基層ともに再生密粒度As(20)
3. 既設舗装撤去後、コンクリート面にひびわれが多く見られる場合は対応方針について協議を行うこと。
4. 本計画は、橋梁上の既設アスファルトの下(床版上)に土砂が設置されていることを前提としている。施工にあたっては、土砂撤去後、軽量コンクリートの打設・高さ調整を実施の上、床版防水工・アスファルト舗装を施工すること。なお、床版上の構造が土砂では無い場合は、発注者と協議の上、対応方針を決定すること。(設計段階の対応方針としては、軽量コンクリートの施工が無しになることを想定している)

床版防水工詳細図 S=1:5

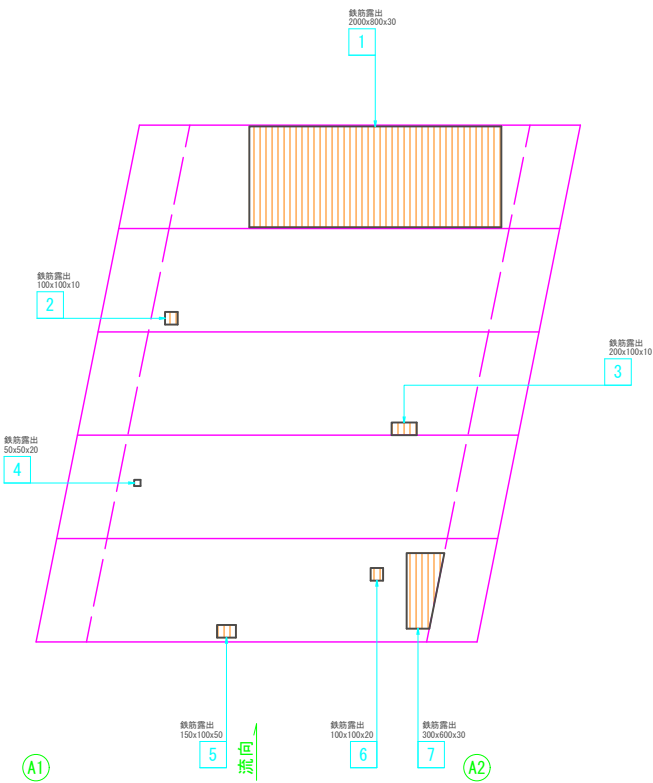


- 注記
1. 施工にあたっては現地測量を行い、既設構造物の寸法や斜角を再確認すること。
 2. 補修部材は、実測確認後に製作すること。
 3. その他、現場条件により不具合がある場合は、協議の上、変更を行うこと。
 4. 施工にあたっては再度現地調査を行い、損傷箇所を確認の上実施すること。
 5. 再調査の結果、新たな損傷箇所が確認された場合は協議の上、対策を行うこと。

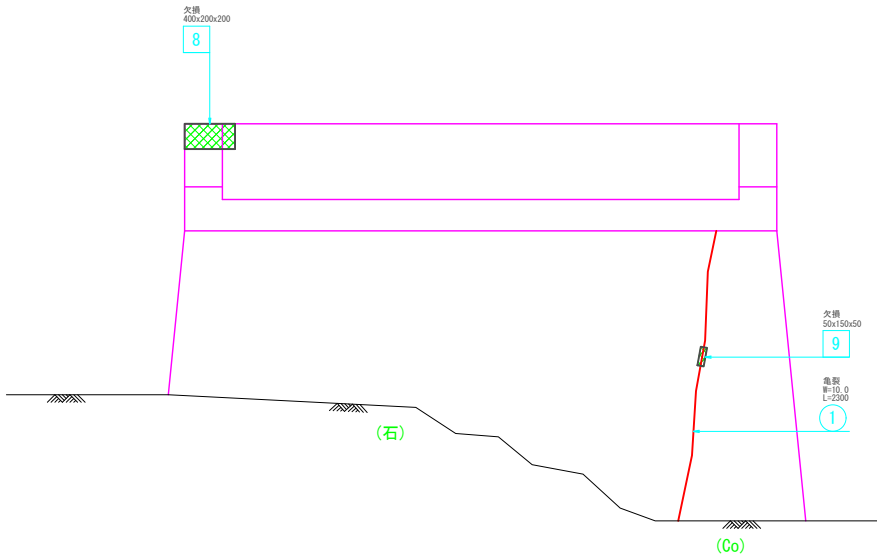
【曲淵1号橋】			
工事名	令和6年度橋梁補修設計業務		
図面名	舗装打換工・床版防水工図		
作成年月日	令和6年12月		
縮尺	S=1:30	図面番号	3 / 7
会社名	株式会社 パスコ		
事業者名	神石高原町 建設課		

コンクリート補修工図 S=1:30

平面図



A1橋台



ひびわれ補修工数量:下部工

部位	番号	ひびわれ補修工		箇所数	備考
		幅 (mm)	長さ (m)		
A1橋台	①	10.0	2.30	1	亀裂充填工

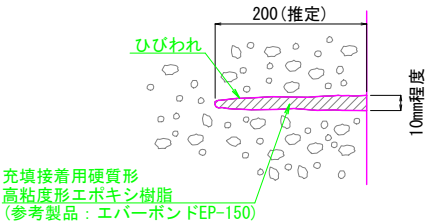
断面修復工数量:桁下面・下部工

部位	番号	断面修復工		箇所数	備考
		幅 (m)	長さ (m)		
床版	1	2.00	0.80	1	鉄筋露出
	2	0.10	0.10	1	鉄筋露出
	3	0.20	0.10	1	鉄筋露出
	4	0.05	0.05	1	鉄筋露出
	5	0.15	0.10	1	鉄筋露出
	6	0.10	0.10	1	鉄筋露出
	7	0.30	0.60	1	鉄筋露出
A1橋台	8	0.40	0.20	1	欠損, ケレン無
	9	0.05	0.15	1	欠損, ケレン無

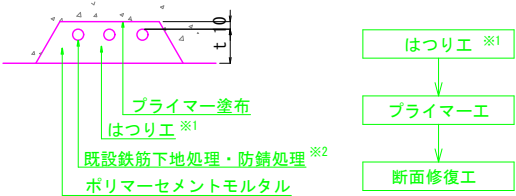
コンクリート補修要領

〈ひびわれ補修工〉

亀裂充填工法



〈断面修復工〉



- ※1: はつり箇所の端部は、10mm程度のカッター目地を入れ、フェザーエッジを回避すること。
※2: はつり時鉄筋が露出した場合には防錆処理を行うこと。
※3: 断面復旧時、既設鉄筋からの純かぶりは20mmを確保すること。

凡例 (単位=mm)

損傷の種類	表示
遊離石灰を伴うひびわれ	
鉄筋露出	
欠損	
うき	
剥離	

凡例 (ひびわれ)

幅	表示
0.2 ≤ W < 0.3	
0.3 ≤ W < 0.4	
0.4 ≤ W < 0.5	
0.5 ≤ W < 1.0	
1.0 ≤ W	

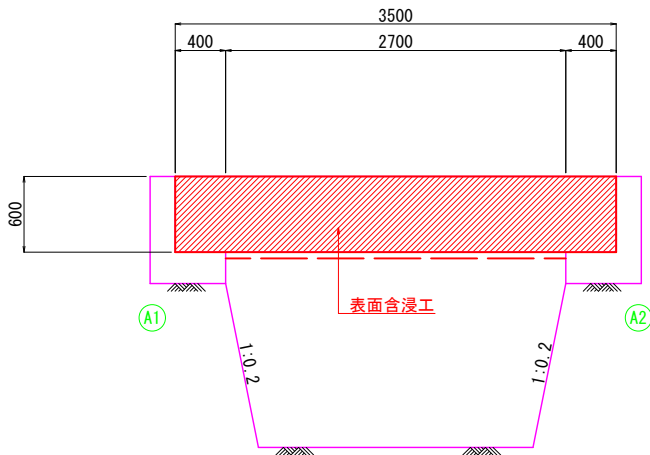
- 注記
1. 施工にあたっては現地測量を行い、既設構造物の寸法や斜角を再確認すること。
2. 補修部材は、実測確認後に製作すること。
3. その他、現場条件により不具合がある場合は、協議の上、変更を行うこと。
4. 施工にあたっては再度現地調査を行い、損傷箇所を確認の上実施すること。
5. 再調査の結果、新たな損傷箇所が確認された場合は協議の上、対策を行うこと。

【曲淵1号橋】

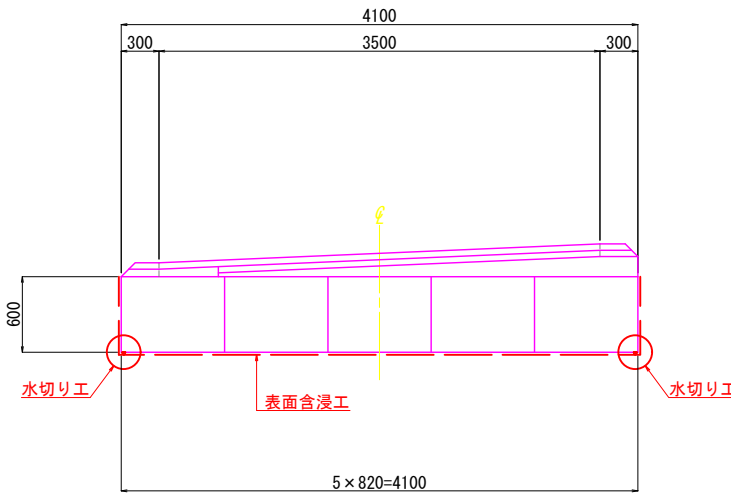
工事名	令和6年度橋梁補修設計業務		
図面名	コンクリート補修工図		
作成年月日	令和6年12月		
縮尺	S=1:30	図面番号	4 / 7
会社名	株式会社 パスコ		
事業者名	神石高原町 建設課		

コンクリート表面保護工・水切り工図 S=1:30

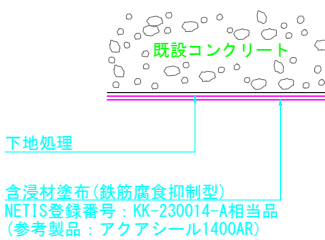
側面図



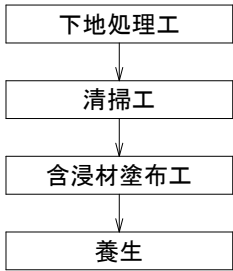
上部工断面図



コンクリート表面含浸工



施工フロー

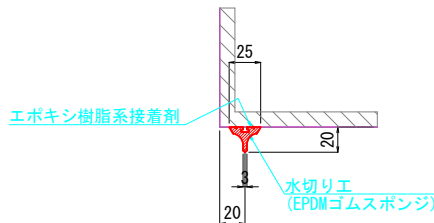


表面含浸材の要求性能

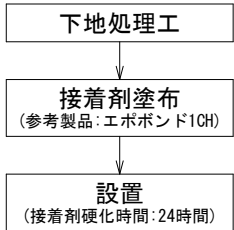
試験項目	シラン系表面含浸材 評価基準
外観	変化なし、わずかに変化、 著しい変化のいずれか
含浸性	—
透水抑制率	80%以上 (グレードA)
吸水抑制率	80%以上 (グレードA)
中性化抑制率	30%以上 (グレードA)
塩化物イオン浸透抑制率	80%以上 (グレードA)
透湿比	80%以上 (グレードA)

試験方法：表面含浸材の試験方法(案) JSCE-K571-2005
基材：水セメント比 W/C=50%のモルタル
出典：土木学会、表面保護工法設計施工指針(案) (2005.4) より

水切り工詳細図



施工フロー



水切り工

名称	材質	寸法	左側	右側	合計	参考
水切り工	EPDMゴムスポンジ	W25×H20	2.7m	2.7m	5.4m	80g/m

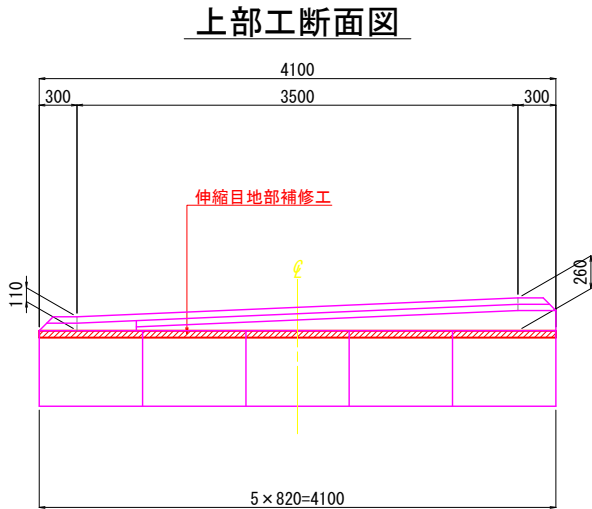
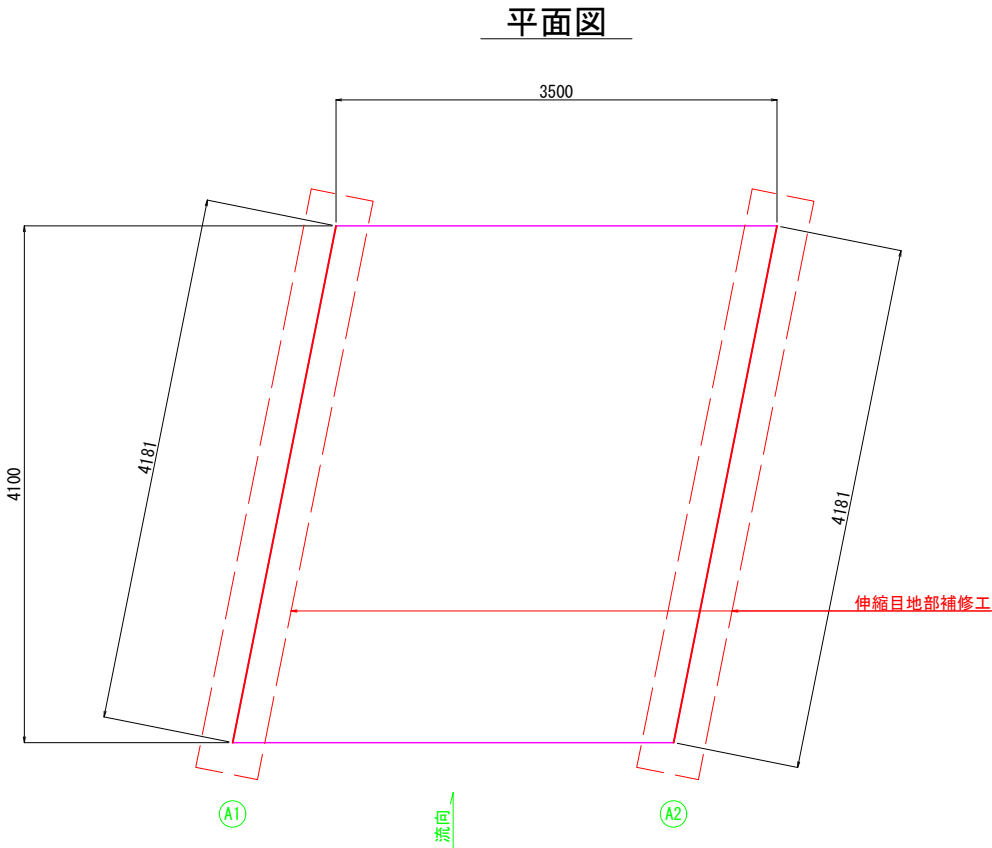
※NETIS登録番号:KK-180012-VE相当品(参考製品名:ウォーターカッター)

- 注記
- 施工にあたっては現地測量を行い、既設構造物の寸法や斜角を再確認すること。
 - 補修部材は、実測確認後に製作すること。
 - その他、現場条件により不具合がある場合は、協議の上、変更を行うこと。
 - 施工にあたっては再度現地調査を行い、損傷箇所を確認の上実施すること。
 - 再調査の結果、新たな損傷箇所が確認された場合は協議の上、対策を行うこと。

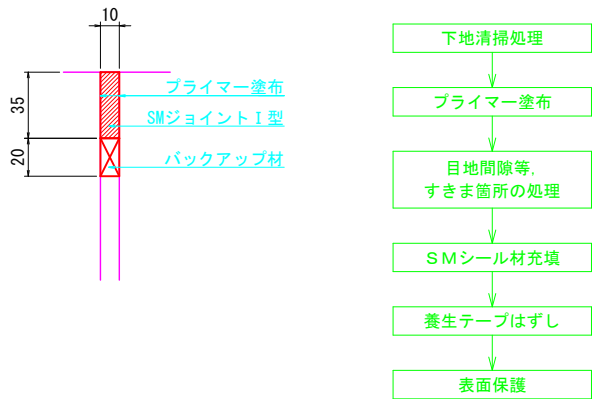
【曲淵1号橋】

工事名	令和6年度橋梁補修設計業務		
図面名	コンクリート表面保護工・水切り工図		
作成年月日	令和6年12月		
縮尺	S=1:30	図面番号	5 / 7
会社名	株式会社 パスコ		
事業者名	神石高原町 建設課		

伸縮目地部補修工図 S=1:30



伸縮目地部補修工 S=1:2



伸縮目地部補修工材料表 (施工幅10mm, 施工厚35mm)

名 称	材 質	A1 (B=10)	A2 (B=10)	合 計	備 考
伸縮目地材	SMシール材 (ポリブタジエン樹脂)	4.2 m	4.2 m	8.4 m	SMジョイントI型相当
プライマー	専用プライマー	43.9 m ²	44.1 m ²	87.8 m ²	150 m ² /m ²
バックアップ材	バックアップ材	4.2 m	4.2 m	8.4 m	

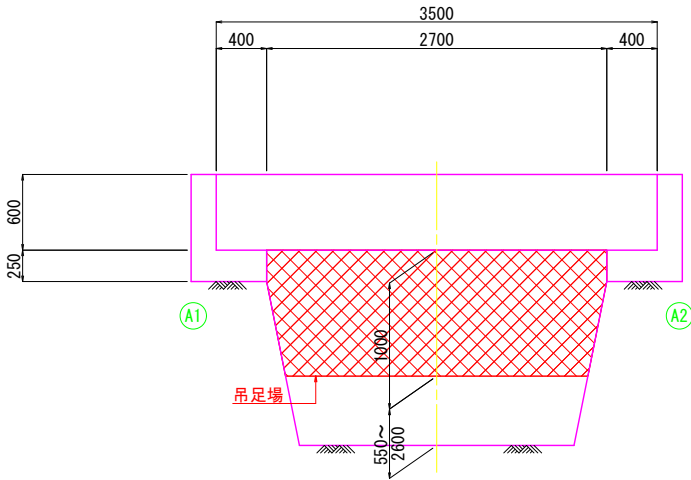
- 注記
1. 施工にあたっては現地測量を行い、既設構造物の寸法や斜角を再確認すること。
 2. 補修部材は、実測確認後に製作すること。
 3. その他、現場条件により不具合がある場合は、協議の上、変更を行うこと。
 4. 施工にあたっては再度現地調査を行い、損傷箇所を確認の上実施すること。
 5. 再調査の結果、新たな損傷箇所が確認された場合は協議の上、対策を行うこと。

【曲淵1号橋】

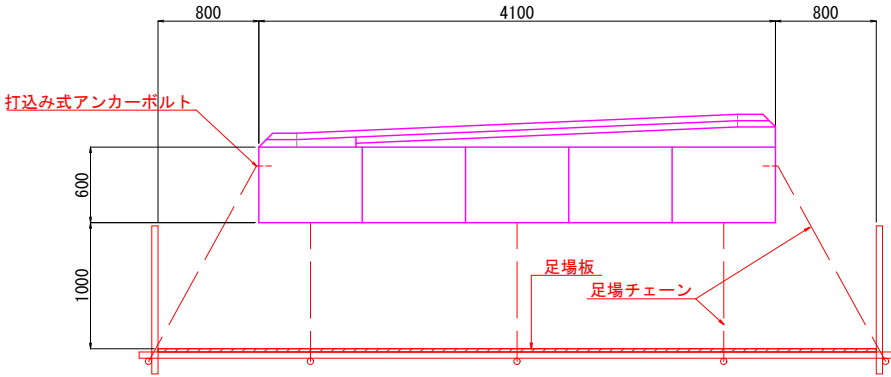
工事名	令和6年度橋梁補修設計業務		
図面名	伸縮目地部補修工図		
作成年月日	令和6年12月		
縮尺	S=1:30	図面番号	6 / 7
会社名	株式会社 パスコ		
事業者名	神石高原町 建設課		

(参考) 施工要領図 S=1:30

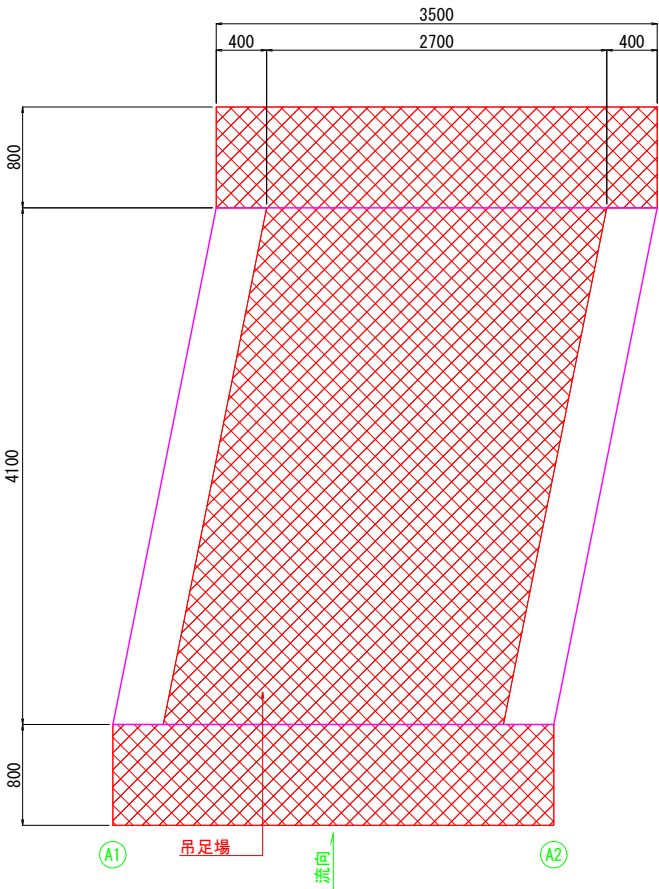
側面図



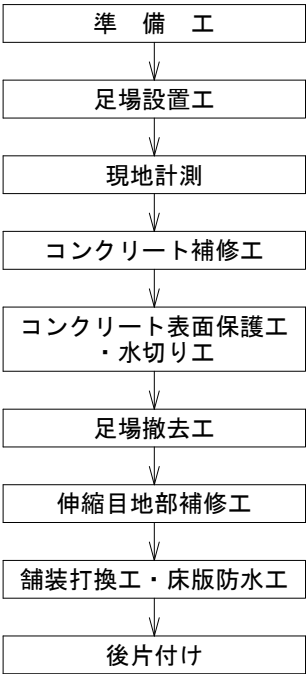
上部工断面図



平面図



施工フロー



- 注記
1. 施工にあたっては現地測量を行い、既設構造物の寸法や斜角を再確認すること。
 2. 補修部材は、実測確認後に製作すること。
 3. その他、現場条件により不具合がある場合は、協議の上、変更を行うこと。
 4. 施工にあたっては再度現地調査を行い、損傷箇所を確認の上実施すること。
 5. 再調査の結果、新たな損傷箇所が確認された場合は協議の上、対策を行うこと。

【曲淵1号橋】

工事名	令和6年度橋梁補修設計業務		
図面名	(参考) 施工要領図		
作成年月日	令和6年12月		
縮尺	S=1:30	図面番号	7 / 7
会社名	株式会社 パスコ		
事業者名	神石高原町 建設課		